



「手話狂言の公演を終えて」

文化庁の「子どものための文化芸術公演事業」が7月1日に行われました。公演当日の体育館はうだるような暑さで観覧された地域や保護者の皆様も大変だったと思います。ただ、その中で子どもたちは真剣な表情で公演に見入っていました。演者は衣装を身にまとい汗だくになりながらも子どもたちの前では、その暑さを微塵も感じない素晴らしい演技を見せていただきました。

公演終了後に全校の子どもたちが「ありがとう」を声と手話で伝えたときは感動しました。

終了後にスタッフの皆さんが「暑かったです。でも、この暑さの中、金栄小学校の子どもたちは真剣に見てくれ、楽しむときは楽しんでくれました。この公演が手話や狂言を知るきっかけになれば私たちが東京から来た意味があります。」とおっしゃってくださいました。

子どもたちの中には演じている反対側で手話通訳をしている方に気が付いて「同時に私たちにわかるように伝えられるなんてすごい。」と感想を持つ子どももいました。

5年生は総合的な学習の時間に福祉、6年生は古典芸能について学びます。教科書や写真だけでは学べない体験ができたと思います。

「聞こえる人も聞こえない人も共に楽しめる演劇」を通して、子どもたちが大きく成長した瞬間に立ち会えた気がします。

校長 曾我部大地



<6年生の感想>

- 私は、手話狂言を見て耳が聞こえる人も聞こえない人も言葉がしゃべれるししゃべれないに関わらず「手話狂言」というのはいろんな人を楽しませてくれるものなんだなと思いました。この経験を生かして手話が分からなくてもジェスチャーなどで伝えられたらいいなと思います。
- ぼくは、手話狂言を見て手話だけでなくしゃべってもくれている、聾者の人も他の人もみんな楽しめてすごいなと思いました。手話は、手だけでなく表情も大事だと言って本当に変えていたのですごかったし、見ている側もとても面白かったです。

【放課後水泳特別練習】

放課後の水泳練習を頑張っています。自分の記録を少しでも縮めて、大会では標準記録突破、入賞を目指しています。また、泳ぐことが苦手な子どもたちも、1mでも長く泳げるように必死で練習するなど、よく努力していました。新居浜市水泳記録会は、7月23日(水)中萩小学校にて開催されます。金栄小学校代表児童の活躍を期待しています。

< もうすぐ 夏休み！ >

いよいよ待ちに待った夏休み。子どもたちが学校を離れ、家庭や地域で過ごすようになります。普段できない体験や家族の一員としての役割、地域社会での遊び、自分で選択した学習など、夏休みならではの経験に挑んでもらえたらと思います。また、水難事故や交通事故防止などについて親子でよく話し合い、事故のない楽しい夏休みを過ごせるようお願いします。

1学期間の皆様のご支援、ご協力に心より感謝いたします。始業式で、たくましく成長した金栄っ子に会えるのを楽しみにしています。

夏休み、何かありましたら、学校まで連絡してください。
(平日 8:00～16:30 37-2313)



教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

校訓 「未来をひらこう」

児童像 「考える子」「やさしい子」「がんばる子」

<金栄小学校HP <http://kinei-e.esnet.ed.jp>>